

令和7年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	75	学校名	浜松江之島高校	校長名	鈴木 雅道
------	----	-----	---------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標 (◎100% ○85% △70%)	達成 状況	評 価	成果と課題
ア	(ア)問題行動や心身の不調、事故等を未然に防ぐ安心な学校づくり	○挨拶や礼法が実践できている生徒 ○相談できる先生がいる生徒 ◎生徒が相談しやすい環境作りをした教員 ○学校生活に満足している生徒 ◎SNSに不適切な書き込みをしない生徒 ◎SNSの適切な使用を指導した教員 ◎自転車による加害事故がなかった生徒 ◎常に不祥事根絶を意識している教員	97.7% 86.2% 100.0% 85.0% 98.2% 88.9% 93.6% 100.0%	A	挨拶ができる生徒が昨年度よりやや減少しているため、教員からも積極的な挨拶をし、声掛けを行い指導していく姿を見せることが大切である。 デイケン、NiCoLi の導入により生徒が相談しやすい環境を作ることができ、教員の配慮が生徒に伝わっていると捉えられた。 SNS の使用については、授業中や学校行事の際に不適切使用をしないよう事前指導を行った。また、問題が発生した場合には迅速な対応ができたが、未然に防ぎきれないこともあった。 また、毎月の職員研修により、コンプライアンス意識の向上を図り、不祥事根絶につなげることができた。
	(イ)防災対策や環境整備等による安心・安全な学校づくり	◎荒天や災害時に自らの命を守ることを意識して行動しようと心がけている生徒 ◎危機管理マニュアルを確認した教職員 ○相手を思いやる言動ができている生徒・教職員 ◎自分の心身の状態を正しく伝えようとした生徒 ◎朝食を毎日摂るように心がけている生徒 ◎生徒の様子や実態を正しく把握し、適切な対応を心がけている教員 ◎定期的な安全点検を実施した教職員 ○学習環境が整っていると感じた生徒 △図書館を利用した生徒 ◎ごみの持ち帰りを行った生徒・教職員 ◎予算を計画的に正しく執行	96.5% 91.7% 96.4% 93.1% 79.5% 100.0% 92.1% 78.4% 58.3% 98.2% 94.7%	B	校内の避難訓練は以前よりスムーズに避難できるようになったが、今以上に緊張感のある訓練にしたい。今年度は津波警報が発令されるなど、危機管理マニュアルを確認する場面が多く、教職員の意識が高まったと感じた。防災用品の更新も実施できた。 デイケン、NiCoLi の導入により自分の健康状態に向き合うことができる生徒が増えた。今後、健康管理能力を高めるスキルを身につけさせたい。 図書館の授業等での利用を加えると85%程度になる。来年度はさらに図書館の利用者を増やすため、安心安全な環境づくりと広報活動の充実をおこなっていききたい。 ゴミの持ち帰りについては習慣

様式第3号

		した教職員			<p>化が概ねできているが、清掃については、行き届いていない場所がある。清潔感のない場所で生活することは健全な精神を育むことはできないため早急に改善をする必要がある。</p> <p>随時の安全点検により小さな異状や潜在的な危険因子を発見し、大きなトラブルや事故を未然に防ぐことができた。</p>
イ	(ア)知性を育む基礎学力の定着	<p>○自らの基礎学力が身に付いた生徒</p> <p>△生徒の基礎学力が向上したと感ずる教員</p> <p>○自らの思考力が高まった生徒</p> <p>△生徒の思考力が高まったと感ずる教員</p>	<p>89.6%</p> <p>72.2%</p> <p>92.8%</p> <p>69.4%</p>	A	<p>生徒の試験準備時間等が不十分で、自ら学ぶ姿勢の必要性を感じた。各教科において、分かりやすい授業づくりに努め、生徒が、身に付けたい基礎学力や思考力を正しく理解し、向上を目指すよう指導していきたい。</p> <p>芸術科の専門科目は、実習を通して基礎的な技術や知識、思考力が向上した。放課後の各生徒の取り組みも大きいと感じる。</p>
	(イ)知性や表現力の向上につながる授業実践	<p>○ICT等を活用して分かる授業が行われていると感じた生徒</p> <p>◎1日に平均1時間以上演奏した生徒</p> <p>◎4月に比べ美術の能力が向上した生徒</p>	<p>87.3%</p> <p>100.0%</p> <p>72.0%</p>	A	<p>アンケート結果によると、ICT活用できている。が、『紙』よりも効果的に活用することが大切である。</p> <p>芸術科、音楽専攻においては、授業、放課後のレッスンや実技の取り組みをしっかりとやっている生徒とそうでない生徒との差が開いてきている。教員側の指導体制を充実させたい。美術専攻においては、1年生は、入学後、専門的な学習を始めることで能力が上がったと実感する生徒が多いが、学年が上がるに従い伸び悩み意識が高くなり、能力が上がっていないと感じる生徒が増える。どの学年も粘り強く取り組む姿勢を育みたい。</p>
ウ	(ア)主体性や規律性を身につける教育活動の実践	<p>○学校生活や学校行事に主体的に取り組んでいる生徒</p> <p>◎欠席・遅刻をなくすように心がけた生徒</p> <p>○始業時間や提出期限を守っている生徒</p>	<p>93.9%</p> <p>88.2%</p> <p>92.5%</p>	A	<p>年間を通して、継続的に指導することができた。教員のサポートはあったが、生徒自ら校則を変えようとする動きがあり、それを実現することができた。</p> <p>多くの生徒は遅刻・欠席をなくそうと心がけているが、遅刻の回数がかさむ生徒もいた。始業時間を守らせるように学年で取り組むことができた。</p>

	(イ)自己指導能力や地域貢献力を育む教育活動の実践	<p>◎自らの行動を自ら監督しようとした生徒</p> <p>○生徒が自己目標を設定し、目標達成のために行動できるような工夫をした教員</p> <p>○地域との連携を目指した活動を通して貴重な経験をすることができたと感じた生徒</p>	<p>89.3%</p> <p>88.9%</p> <p>80.1%</p>	B	<p>自己指導力について説諭するなどし、生徒の成長を促した。特に探究の時間には、地域の方々と交流することができた。その中で、自分がどのように振る舞うべきか考えることができた生徒もいた。地域と連携した活動に全体的に取り組む機会を設けられるとよい。</p>
エ	(ア)3年間を通したキャリア教育の実践	<p>○進路指導に満足している生徒</p> <p>○進路実現に向けて自ら行動している生徒</p> <p>○進学・就職説明会が役に立ったと感じた生徒</p> <p>○自らの学習する意欲が高まった生徒</p> <p>◎生徒の学習意欲が高まったと感じる教員</p> <p>△自ら学習計画を立てることができた生徒</p>	<p>89.0%</p> <p>86.2%</p> <p>90.2%</p> <p>82.7%</p> <p>66.7%</p> <p>74.1%</p>	B	<p>進路に関する指導ができており、来年度も教員の協力体制を維持し、進路指導を継続させたい。</p> <p>生徒の学習意欲は高くないため、スタディサプリの活用方法を検討したい。</p> <p>1 学年では、ジョブウォッチング（企業見学）、その発表会を行い、進路意識の向上に繋がった。2学年では、進路について考えさせる機会は多くあったが、自ら学習するということまで至ることはできなかった。3学年については、各 HR において、様々な場面で目標を設定させ、それに向けて取り組ませた。</p>
	(イ)自己実現を目指す探究活動の実践	<p>○よりよい生き方について考えた生徒</p> <p>◎探究活動の目的を共有した生徒・教員</p> <p>○共生・共育について理解を深めた教員</p>	<p>93.6%</p> <p>86.7%</p> <p>88.9%</p>	A	<p>探究活動が充実し、内容が十分に保証されていた。</p> <p>1 学年では、探究活動により、新しい発見をすることができた。2 学年は、2単位、コース別という初めての試みであったが、学年全体で計画的に探究活動に取り組むことができた。3 学年は、3 年間を通したキャリア教育の成果として、ほとんどの生徒が進路実現に向けて自ら行動できた。</p>